

授業シラバス

詳細情報

2011-4020000108-03

科目名「クラス名」(サブタイトル)	期別	単位数	開講年次
経営管理概論「(10~04台)」	前期	2	1
担当教員	藤野 真		

概要

講義の概要

経営管理では、企業経営において、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源をいかに管理する(有効利用する)かということが問題とされます。経営管理概論では、経営管理のなかでもとくに、生産システムの生成とその発展、および生産システムの現代的課題を検討します。

講義の進め方

講義は、配布したレジュメに沿って行います。レジュメは、専門用語や重要語句が空欄になっています。また、まとめや小括にあたる部分は100~200字程度の文章を書き込む空欄を設けています。

講義では、おもに上記のような空欄を埋めるとともに、教員がおこなった説明などのメモをおこなってください。

レジュメを埋めればそれで学習が終わるわけではありません。レジュメを埋めることは学習を促進させる一つの手段でしかありません。したがって、主体的・自律的態度をもって講義に臨んでください。

到達目標

- (1) 経営管理に関する基本的な知識を知ることができます。
- (2) 経営管理的視点にたった生産システムの生成と発展について知ることができます。
- (3) 経営管理的視点にたった生産システムの現代的特徴と課題を知ることができます。

成績評価基準および方法

評価方法と評価割合

評価は、定期試験(80%)、小テスト(20%:2回)を総合して行い、60点以上を合格とします。

評価基準

既存の学説を踏まえたうえで、客観的な根拠をもって自身の考えを述べている解答であるかどうかを評価の基準とします。

出席と欠席について

講義への出席は当然なので評価に加味しません。自身の優先順位に従って行動してください。

テキスト

テキストは指定しません。

講義は講義中に配布するレジュメをもとに進めます。

参考書

稲村毅・百田義治編著[2006]、『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房(叢書現代経営学8) ISBN 4-623-03896-3

塩次喜代明・高橋信夫・小林敏男[1999]、『経営管理』有斐閣(有斐閣アルマ) ISBN 4-641-12067-6

参考書は講義のなかで適宜紹介していきます。

履修上の留意点

- (1) 経営管理概論について意欲的に学習する意志がある学生の受講を希望します。
- (2) 注意したにも関わらず、著しく受講態度が悪い場合は、出席を遠慮してもらいます。
- (3) 部活・サークル活動による欠席はとくに配慮しません。

授業計画

1. イントロダクション
2. 経営管理論とは何か?
企業と経営、社会と企業、企業の社会的責任
3. 労働の人間化と職務設計(1)
労働力と労働、労働の人間化
4. 労働の人間化と職務設計(2)
職務(job)、職務設計
5. アメリカ式製造方式と内部請負制(1)
互換性部品、互換性生産
6. アメリカ的製造方式と内部請負制(2)
アメリカンシステム、内部請負制
7. 科学的管理とテイラー・システム(1)
テイラー、組織的怠業、協業と分業
8. 科学的管理とテイラー・システム(2)
時間研究、計画と執行の分離、異率出来高払
9. 大量生産・大量消費とフォード・システム(1)
フォード、大量生産・大量消費、T型フォード
10. 大量生産・大量消費とフォード・システム(2)
移動組立ラインなどフォード・システムの特徴
11. トヨタ生産システム(1)
多品種・少量生産、平準化、JIT
12. トヨタ生産システム(2)
「ニンベン」のついた自動化、ケイレツ
13. 日本的経営(日本的労使関係)(1)
長期雇用、年功制、企業別労働組合
14. 日本的経営(日本的労使関係)(2)
内部労働市場、新規卒一括採用
15. まとめ